

く さ か

久坂くにえ通信



プロフィール 昭和 48 年 2 月生まれ O 型 聖心女子大学文学部英文学科卒業
観光厚生常任委員会・議会広報委員会・都市計画審議会所属 鎌倉市笛田在住

第10号 2005年9月

会派で視察を行いました

民主党鎌倉市議会議員団で 7 月に会派視察を行いました。行き先は、震災対策・福岡市、行財政改革・佐賀市、そして観光行政の取組・湯布院町、ということで九州方面を 2 日間半程度で回りました。充実はしているもののかなり駆け足の行程となりました。

■ 寒村からの出発 湯布院の成功要因とは何か

観光地としての歴史もまだ浅い湯布院ですが、温泉地として大変な人気を博しています。しかし、そのスタートは所々温泉が点在するだけの、何もない寒村。町をダム化する計画さえ持ち上がっていたのだそうです。

しかし、昭和 40 年代には、単なる観光の街でなく、温泉・芸術・文化・自然景観など様々な要素を一体化しようという町づくりの構想を導入。

そして、落ち着いた佇まいの中で、「住民が安心して生活できる街こそ優れた観光地」との考え方をベースとしてその後の町づくりのコンセプトとしたのです。

その後商業ベースでない手作りの音楽祭・映画祭・牛喰い絶叫大会など、住民に身近なイベントが次々と開催されるようになり、それぞれ 30 回以上の定着した開催となりました。昭和 40 年代に比べれば湯布院への観光客は 4 倍の 400 万人を超える人気ぶりを博しています。

湯布院の成功要因は、住民本位の観光地作りに徹したということと、そのコンセプトを一本化したことが大きいのではないのでしょうか。

コンセプトこそが都市景観、市街地整備、交通体系、そして行財政運営など多くの指針の根底に横たわるものであると実感しました。

ミニコラム①

① 総務委員会の消防署見学に同行させて頂きました



② ハシゴ車に乗って頂きますよ



バ〇と煙は高い所に登りたがる



③ たしかに全然怖くありませんでした



■ 他都市の教訓を生かせるか

最近地震が頻発しているとはいえ、今年3月に起きた福岡県西方沖地震は、まだ記憶に新しいところ。震災対策の先進事例として福岡市を訪れました。

福岡はもともと自然災害の非常に少ないエリア。実際、福岡市の優れている点として「自然災害が少ない」ということを挙げる市民が多く、固定した意識として確立していたそうです。

しかし、こういった状況を一変させたのが、2003年7月の水害でした。

二日間にわたる地下鉄の運行停止、家屋の破損、住宅・地下施設浸水等の、深刻で重大な被害により、情報提供機能の強化(緊急情報伝達用サイレンの整備)、一斉送信の防災情報提供の充実、情報収集機能の向上、市・区の災害対策本部体制の強化といった取り組みがなされたのです。

この取り組みが今年3月の地震時に生かされ、災害後わずか27分後に災害対策本部の設置、そして1時間47分後には自衛隊への派遣要請という迅速な対応を可能としたのです。

鎌倉市でも震度5以上の場合には、2時間以内に災害対策本部を設置できる体制を整えています。福岡市のように常設ではなく、まだまだ改善の余地はありそうです。

福岡市職員の方の話で印象的だったのは、「実際、2003年の水害で大きな被害がでなければ、ここまで防災体制を整える取り組みはできなかったらう」という言葉。

昨年鎌倉市での台風22号の被害もさることながら、すでに各地で地震・台風などによる大きな被害は起きています。何かが起こっては遅いのです。この福岡市職員の方の言葉を教訓として受け止めたいものです。

■ 参議院議員浅尾慶一郎議員タウンミーティング

時 平成17年9月18日(日)14:00-16:00

ところ 深沢学習センター 第二集会室
(湘南モノレール湘南深沢駅徒歩5分)

■ 久坂くにえ かまくらミーティング

時 平成17年10月23日(日)10:30-12:00

ところ 鎌倉市市役所 第一委員会室
(守衛室横の入り口からお入りください)

9月議会の報告をします。

他質問お受けします！

* * いずれも出席のご連絡は不要です * *

ミニコラム② 視察先
湯布院町の牛喰い
絶叫大会。ときいて...



なんでも募集しています！

久坂くにえを応援して下さる方 話を聞いてみたい方 活動をお手伝い下さる方

久坂くにえサポーターズクラブ

〒248-0027 鎌倉市笛田 1-8-47 TEL/FAX 0467-32-5304

メール: mail@kkusaka.net ホームページ: <http://www.kkusaka.net>

毎日 Daily
更新です